

# Crescendo

2019.8  
vol.135



ギタリスト・鈴木大介が語る  
映画音楽の世界とその魅力!

アートな学び舎2019  
今後のラインナップは?

こどもおとな劇場#4  
童話『ねこはしる』が音楽劇に!

クラシック×バントマイム!?  
異色のコラボで織りなす物語

劇場の西口玄関横にある階段から、公園の方角を向かって撮影した一枚。  
等間隔に並んだタイル貼りの柱状アーチに陽が射し、浮かび上がる光と影が印象的な場所です。



メディキット 県民文化センター  
MEDIKIT ARTS CENTER

広報誌



2人のギタリストが贈る、懐かしい映画音楽の数々

鈴木大介 × 伊藤ゴロー

# ギター・デュオで聴く 映画音楽の世界

大の映画ファンを自認し、映画音楽のCDリリースやコンサートを行う鈴木大介。そして、坂本龍一をはじめとしたアーティストとの共演を果たし、近年では映画音楽の劇伴を手がける伊藤ゴロー。ギターの名手2人が、映画音楽にまつわるトークをまじえ、映画音楽の世界をお届けします。今回、出演者の鈴木大介さんに本企画や映画音楽についてお話を伺いました。

## 🎧 鈴木大介さんインタビュー 🎧



鈴木大介 Daisuke Suzuki

新しい世代の音楽家として常に注目され続けているギタリスト。マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレクサンドリヤ市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。アルバム制作でも高い評価を受け、「カタロニア讃歌〜鳥の歌／禁じられた遊び〜」は平成17年度芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞。近年では、CD「Daisuke Suzuki the Best 2019」を2019年1月にリリース。第10回出光音楽賞、平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。

### Q. 今回の公演を企画された経緯について

ギターはバロック時代、または18～19世紀から、ヨーロッパの音楽の中では流行のオーケストラ曲やオペラのアリアを家庭で楽しんだり、演奏会で再現するために使われてきました。クラシック・ギターが持つ音色や“小さなオーケストラ”といわれる多彩な魅力を、映画音楽のアレンジを通じてさらに皆さんに味わっていただきたいと思います企画しました。

### Q. 共演される伊藤ゴローさんはどんな方ですか？

ゴローさんは本場ブラジルのミュージシャンともたくさんの共演歴を持つボサノバ・ギターの第一人者であるだけでなく、ご自身でも素晴らしい曲をたくさん作曲されていたり、原田知世さんをはじめとする数々のシンガーのプロデューサーとしても有名です。今回の公演では何より彼のギターの、透明で虹色に輝く風のような鮮やかさを楽しんでいただけたと思います。



伊藤ゴローと鈴木大介

伊藤ゴロー Goro Ito

作曲家/編曲家/ボサノヴァ・ギタリスト/音楽プロデューサー。映画音楽では、『響〜HIBIKI〜』(2018)『恋は雨上がりのように』(2018)『君と100回目の恋』(2017)などを手がけている。

### Q. 日本を代表する作曲家・武満徹\*さんに「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評された鈴木さん。鈴木さんにとって、武満徹さんはどのような存在ですか？

名も無い留学生であった僕が、彼の一言でギタリストとして生活していけるようになりました。そのこと自体、予想だにしない奇跡のような出来事でしたが、彼が天国へ行ってしまった後も、武満さんと音楽を共に創造した先輩方が僕のことを助けてくださいましたので、大恩人と言えます。そうなる前から、僕は武満さんの音楽が大好きで、ヨーロッパの演奏会などでプログラムに加えていました。近年になって、武満さんの遺した自筆のスコアなどを編曲させていただくようになりました。

\*武満徹 (1930～1996)…若手芸術家集団「実験工房」に所属し、映画やテレビなどの幅広いジャンルで創作活動に取り組む。親交のあった小澤征爾を通じ、レナード・バーンスタインから依頼を受け『ノヴェンバー・ステップス』を作曲。国際的な評価を受け、日本を代表する作曲家となる。

### Q. 映画大好きな鈴木さん。どんな映画がお好きなんですか？

シリアスなドラマも、アクション映画も大好きですが、変わらないベスト・シネマ3作は『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ』『ニュー・シネマ・パラダイス』『セントラル・ステーション』ですね。そして最近『幸せなひとりぼっち』という、おじいさんの出てくるスウェーデンの映画がとても良かったです。

### Q. 映画音楽を演奏するにあたってのこだわりを教えてください。

映画音楽は編曲して演奏しているんですが、実は映画そのものも共感できるものばかりを選んでいきます。映画音楽をお聴きになって、その映画をご覧になったことのある方が、また観たくなりました、とか、観ていた頃を思い出した、とおっしゃっていただけるのがとても嬉しいです。

### Q. 選曲はどのようにされているんですか？

映画音楽の演奏会をたくさんしていると、時にはクラシックの名曲も入っていた方が、お客様によりバラエティーに富んだギターを聴いていただけるのではと思っています。映画から曲を選ぶだけでなく、弾きたい曲の方から、その曲が使われている映画を探したりすることも稀にありますね。

### Q. 聴きどころは？

クラシック・ギターが持つ表現力の幅の広さが、皆さまご存知の映画音楽の中で、どのように発揮されるかをお楽しみいただければと思います。ゴローさんと僕のギター・デュオを先日披露したんですが、まるで一人で2台のギターを弾いているかのような魔法の調和でした。

### Q. 鈴木さんにとって“映画音楽”とは？

好きな映画の音楽であると同時に、自分のそれぞれの年代のアルバムのようなものです。

### Q. 最後にお客様にメッセージをお願いします。

ギターが大好きな方も映画が大好きな方もリラックスして楽しんでいただけるプログラムをお届けします。ゴローさんの爽やかなスパイスとともに、スクリーンに浮かび上がるたくさんの涙と笑顔を思い起こしていただければ嬉しいです。

## Program

E. モリコーネ  
ニュー・シネマ・パラダイス / 『ニュー・シネマ・パラダイス』より

B. テルソン  
コーリング・ユー / 『バグダッド・カフェ』より

S. マイヤーズ  
カヴァティーナ / 『ディア・ハンター』より

F. タレガ  
アルハンブラの思い出 / 『サイドウェイ』より

A. ピアソラ  
リベルタンゴ / 『フランティック』より

A. バロース  
ブラジルの水彩画 / 『未来世紀ブラジル』より

L. ボンファ  
カーニバルの朝 / 『黒いオルフェ』より ほか



『ニュー・シネマ・パラダイス インターナショナル版 デジタル・レストア・バージョン』  
価格: ¥3,800+税  
発売元: アスミック・エース  
販売元: 株式会社KADOKAWA

鈴木大介さんの演奏を  
聴いてみませんか？

QRコードから動画ページに  
アクセスできます。



映画音楽にまつわる  
エピソード大募集！

思い出の一曲が、  
本番で演奏されるかも！？

詳しくはHPを  
チェック！



公 演

鈴木大介 × 伊藤ゴロー  
ギター・デュオで聴く 映画音楽の世界  
会場: イベントホール 10月19日(土) 14:00開演



## 映画音楽とあの頃の自分

映画を見てもいないのに音楽だけ聴いていたのは中学生時代でした。同級生の一人が欧米の映画音楽のドーナツ盤をたくさん持っていて、休みの日の学校に忍び込み二人でよく聴きました。その頃はどの家にもなかったステレオが音楽教室にはあったからです。「太陽がいっぱい」「鉄道員」「禁じられた遊び」…ジャケットに掲載された写真や映画のあらすじから、見てもいないスクリーンを想像しつつレコードを聴く…懐かしき昭和30年代の中学生。

忘れられないのは「世界残酷物語」です。残酷でグロテスクな世界の風習を捉えた映像が氾濫する映画で、街中に貼ってあるポスターを見てショックを受け、こっそり見てきた同級生が手柄顔に話すのも何となく不愉快でした。ところが音楽教室に友人が持ち込んだこの映画のテーマ音楽は、信じられない美しさに溢れていました。この映画は残酷な世界をむしろ悲しみ愛おしむ人たちによって作られたのかもしれない…「モア」という題のその曲を、後にテレビドキュメンタリーを作る仕事に就いてから幾度となく思い出したものです。

テレビディレクターになってしばらくは力がない、向いていない…という自信喪失の日々が続きました。大学時代の友人でプロのフォーク歌手になった男と新宿で飲み明かし、することもなく二人で映画館に入りました。寝ぼけ眼を吹っ飛ばしてくれたのが「スティンク」というアメリカ映画です。ポール・ニューマンとロバート・レッドフォード、二人の詐欺師が繰り広げるスリリングな展開と奇想天外の結末。番組で何を伝えたいのかという理屈ばかりを気にしていた頭でつちの私は、この映画の細やかな映像手法と巧みな物語展開のテクニクに愕然とします。映像の世界で生きるには見る人を引きつけるプロの技術を身につけなければいけないと思い知らされました。

友人のフォーク歌手は「俺にはあんな曲は作れない。凄い曲だが、俺が作りたい音楽じゃない」と言いました。彼もまた繰り返し流れていたテーマ音楽「エンターテイナー」という曲を聴きながら、自分の音楽を見つめ直していたようです。友人も私も一人前になるまでに苦闘していた20代半ば、昭和40年代の忘れられない映画音楽です。映画音楽には「あの頃の自分」がくっついて思い出されるようです。10月公演予定の「ギター・デュオで聴く映画音楽の世界」では、果たしてどんな自分を思い出せるのか…楽しみにしています。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場  
理事長 佐藤寿美



# アートな学び舎 2019

参加者  
募集中!

劇場が主催する演劇ワークショップシリーズ「アートな学び舎」は、“演劇やダンスに興味はあるけど、何から、どうやって始めたらいいんだろう?”そんな気持ちに応える学びの場として、2016年にスタートしました。

今年も、連続講座から1回完結型の講座まで、内容も対象もバラエティに富んだ講座をご用意しています! ちょっとだけかじってみたいという方も、しっかり学んでみたい方も。あなたのご参加をお待ちしています!



## 過去の講座の様子

👍 こんな人におすすめ 👍

演劇やダンスを  
やってみたいけど  
チャンスがない

新しいことに  
チャレンジしてみたい

ふだんの生活や  
仕事に役立てたい

新しい知識を  
学ぶことが好き



### わくわくドキドキ親子で体操

講師 JOU(ダンス)、  
アンドレ・ヴァン・レンズバーグ(音楽)  
対象 大人+未就学児(推奨2~5歳)  
※原則2人組

「子どもと過ごす日々をもっと楽しみたい」というお母さん・お父さんにお届けする、未就学児のお子さんと親子で一緒に参加できるワークショップです。音楽の生演奏にあわせて一緒に体を動かしながら、体のふれあいから始まるコミュニケーションを体験してみませんか?

### 狂言たいけん!

講師 茂山宗彦、山下守之  
対象 中学生以上

「アートな学び舎」初登場の狂言ワークショップ!京都から茂山千五郎家のお二人を講師にお迎えします。狂言の所作や小道具の使い方を体験して、狂言の魅力に触れてみませんか?「柿山伏」の実演もあります!ぜひお気軽にご参加ください。

## 今後のラインナップ

### 9月

#### 「わくわくドキドキ親子で体操」

9月14日(土)14:00~15:30[宮崎会場]  
9月15日(日)13:30~15:00[高千穂会場]

### 10月

#### 連続講座「戯曲を読み解く! 2019」

10月9日(水)~11月1日(金) [全6回]

#### 「演劇つくりたい!ワークショップ」

10月12日(土)・13日(日)・  
19日(土)・20日(日) [全4日間]

#### 「テクニカル講座(仮)」

10月16日(水)19:00~22:00

#### 「狂言たいけん!」

10月26日(土)14:00~15:30

### 11月

#### 「舞台めいく講座」

11月22日(金)19:30~21:00

### 2020年3月

#### 「ぶっちゃけ演出論」

3月6日(金)19:30~21:00

### 戯曲を読み解く! 2019 連続講座

講師 立山ひろみ(宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター)  
対象 高校生以上

実際の作品をとりあげながら、戯曲を読み解くための知識を学ぶ、全6回の講座です。少人数でじっくり取り組むので、演劇経験者の方はもちろん、初めての方も大歓迎!「演劇を観るのは好きだけど、戯曲を読むのは苦手…」そんな方もぜひご参加ください。きっと、戯曲の楽しみ方が広がりますよ。

### 演劇つくりたい!ワークショップ

講師 立山ひろみ  
対象 高校生以上

全4日間のワークショップを経て、演劇を“つくってみる”講座です。「興味はあるけど、なかなか挑戦する機会がなかった」「大勢の前で演技するのは恥ずかしい」そんな方にもおすすめ! 演劇をつくる現場を、まずはちょっとだけ、一緒に体験してみませんか?

※各講座の詳細は随時チラシやホームページでお知らせします。



あの名作童話が音楽劇に!



KAKUTAの  
とびだす童話



# ねこはしる

工藤直子の名作童話『ねこはしる』が音楽劇になってやってきます!  
ことばと美しい音楽にのせて、あそびごろいっぱいお届けする、  
いのちまたたく感動の物語。本作で構成・脚色・演出を務める、  
桑原裕子さんにお話を伺いました。



～あらすじ～

のろまでドジだけど気持ちの優しい子猫のラン。池の魚と仲  
よしになって、いつか二人は心を通わせ、ともに成長します。  
ところがある日、魚は他の兄弟猫たちに見つかり、魚とり競争  
がおこなわれることに。  
ランが悩んだ末、ここに  
に誓った哀しくもたくま  
しい決意とは…



舞台写真:伊藤華織  
宣伝イラスト:楓 真知子



構成・脚色・演出

桑原裕子さん  
(KAKUTA主宰)

Q. 童話『ねこはしる』を音楽劇として舞台化  
しようと思ったきっかけは何ですか?

KAKUTAでは15年前から、小説などを朗  
読劇として上演する「朗読の夜シリーズ」公演  
を定期的に行っていて、その第一弾として上  
演したのがこの『ねこはしる』なんです。再演  
を熱望する声が多くて、これまでも繰り返し上  
演してきました。

昨年、『ねこはしる』の演出をリニューアルし  
て舞台化する時に、劇中の全楽曲を扇谷研人  
さん(音楽監督)のオリジナルで制作していただけることになって、な  
らば、これまで以上に演劇の要素を深めて、新たな  
舞台劇にしよう、ということになりました。



Q. ずばり! 原作『ねこはしる』の魅力について  
教えてください。

この物語には、子どもから大人まで、いつ、どの年代の方が読んで  
も、新鮮な感動を与えてくれる命のメッセージがたくさんこめられて  
います。

落ちこぼれ猫のランと、孤独な魚が出逢い、互いに成長しながらか  
けがえのない友情を築いていく。共に大きな試練にぶつかり、一人前  
の大人へと成長していく中で、ふたりが体験する、生きることの喜び、  
厳しさ、素晴らしさ。それらは子どもたちにとってとても身近な世界で  
あると同時に、かつて子ども時代を通った私たち大人にも深く響くも  
のです。

そして同じ森に住む生き物たち…猫と魚だけでなく、生きとし生け  
るものたちすべての「いのちの息吹」が、工藤直子さんのみずみずしい  
言葉で綴られていて、私たちがいる世界の素晴らしさを教えてくれ  
る、そんな魅力にあふれていますね。

Q. どんどこを楽しんでほしいですか?

美しい音楽やダンス、演劇の遊び要素いっ  
ぱいの「とびだす童話」として『ねこはしる』を  
つくりました。

ランと魚を見守る語り部になるのは、ちょっ

とドジで泣き虫な人間の男の子  
「ボク」と、森に住むネズミやウサ  
ギ、アリなど様々な生き物たち。小さなお子さんた  
ちには、舞台の上を歌ったり踊ったり、賑やかに跳ね回る生き物たち  
のショーを楽しんでいただけたと思います。けれども、けっして「こど  
も向け」の作品ではなく、どんな世代の方にも響く  
物語なので、親御さんにも、ふらりと観に来た  
大人のお客さんにも、心に残る体験をお届  
けできると思います。

また、歌手の花れんさんが森の精霊「こ  
だま」を演じ、優しさと透明感に溢れる歌  
声で作品世界を彩ります。扇谷研人さんが手がける素晴らしいオリジ  
ナル楽曲も大きな見どころ、聴きどころのひとつですね。



Q. 最後に(読者・宮崎県民に向けた)メッセージをお願いします。

宮崎の皆さん、こんにちは!そしてはじめまして。私たち劇団KAKUTA  
は東京を拠点に活動していますが、全国いろんなところで、喜びとた  
のしさに溢れた幅広い世代に親しまれる作品を上演していきたいと  
思って、この『ねこはしる』をつくりました。

これまでにKAKUTA 作品をどこかでご覧になった方には、いつも  
とは違ったKAKUTA をたのしんでいただけたと思いますし、初めてご覧  
になる方は、どうぞこの機会に私たちを知っていただけたらと思います。

この作品を通して宮崎の皆さんと出会うことが、今からとても楽  
しみです。どうぞご期待ください!



こどももおとなも劇場とは

毎年、世界の名作物語を“こどももおとなも”楽しめる  
舞台作品にしてお届けするシリーズです。

公演情報

こどももおとなも劇場#4  
KAKUTA のとびだす童話『ねこはしる』

会場: イベントホール  
9月7日(土)・8日(日) 14:00 開演(両日とも)





クラシックと  
パントマイムで送る物語

シリーズ〈なるほどクラシックコンサート〉  
vol.8

街角物語

～音楽とパントマイムでつなぐ物語～

本格的な演奏と、曲にまつわるトークを交えながら、知的好奇心をくすぐる公演をお届けしてきた「なるほどクラシック」シリーズ。  
8回目となる今回は、素晴らしい演奏家と、パントマイムとマジックを組み合わせた独自のパフォーマンスで絶賛されている  
KAMIYAMA氏による、新たな舞台をお楽しみいただきます。

企画・構成を務める  
桐原直子さんにお話を  
伺いました。



宮崎県立芸術劇場  
音楽事業アドバイザー  
桐原直子さん

Q. シリーズ〈なるほどクラシック  
コンサート〉について

気軽にクラシック音楽を楽しんでもらうために、2012年から続けているシリーズです。これまでは、「クラシック音楽×トーク」というスタイルで、作曲された背景や作曲者についての楽しいお話をまじえながら行ってきました。今回は8回目にして“しゃべらない”スタイルを考えています(笑)。それは、「聴覚」で楽しむ音楽と「視覚」で楽しむパントマイムという、どちらも「言葉のない世界」をお客様自身の感覚で楽しんでもらうためです。8回目にし

Q. KAMIYAMAさんはどんな方ですか？

パントマイムで世界チャンピオンになったこともある有名な方なのですが、とても純粋で繊細な人です。有名な鞆のパフォーマンスは、見たことがある人が多いと思いますが、マジックの要素も入っていて、見るだけでも楽しいです。打ち合わせ場所を猫カフェにしてくるような、ユニークな一面もある方ですね(笑)。今回はヨーロッパでの大きなフェスティバルへの参加を断って、この公演に来てくれます。

Q. 宮崎出身の白濱櫻子さん、  
本田奈留美さんについて



白濱櫻子(ヴァイオリン)

白濱さんは高鍋町のご出身で、ヴァイオリン専攻で東京藝大を卒業された経歴を持ち、現在は東京で活躍中の方です。是非宮崎でも紹介したいと思い今回出演していただくことになりました。「パッサカリア」や「エストレリータ」などの難しい曲もよく演奏されているので、ヴァイオリンの響きを楽しみにしてほしいです。

Q. 本誌をお読みの方に、メッセージを！

私は、音楽の力を信じているので、今回の新しい試みでそれを証明できるような舞台にしたいと思っています。音楽とパントマイムは両言葉がありませんが、コラボレーションで「こんなに想像力をかきたてられるんだ!」とこの新しい試みを楽しんでもらいたいので、クラシックをよく聴く方はもちろん、普段クラシックにはあまり縁の無い方や、エンターテインメントに興味のある方にも来ていただきたいです。

音楽の力を感じてもらいたい

てシリーズとしては新しい試みですが、これまでにない音楽の世界を体験いただけると  
思います。

Q. 今回の公演を企画された経緯について

コントラバスの黒木さんとパントマイムのKAMIYAMAさんが、フランスの「モーツァルト・ニュールック」という作品で2006年に共演されていたんです。その公演を見た時に、音楽とパントマイムはすごく合うなと感じたのがきっかけです。8年前にも、宮崎市のほかに三股町と延岡市でこの「街角物語」を開催したのですが、終演後に涙を流される方もいて。ぜひまた宮崎でと思い、再演を決めました。再演といっても、ヴァイオリニストの白濱さんに今回新しく入っていただきますし、新しい曲も用意しています。

Q. 『街角物語』というタイトルですが、  
どんな物語に？

「男の見た夢」が全体のテーマになっています。人生に疲れた男が、ベンチに座り途方にくれていた時、月の光が差し、夢の世界へ誘われる、というところからこの物語は始まります。男は夢の中で、音楽とともに色々な夢を見るのですが、その音楽から、生きていく力をもらうわけですね。どちらも「言葉のな

い世界」を表現する芸術ですから、みなさんそれぞれに、感じていただける部分があるのではと思います。驚きあり、笑いあり、感動ありのコンサートですので、気軽に楽しんでいただけると嬉しいです。



Q. プログラムについて

「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」や「チャールダーシュ」など、聴き馴染みのある快活な曲から、とても美しく、情感あふれる曲までたっぷりと演奏します。舞台にはほの暗い中にうすらとあかりが灯る街頭とベンチ。1曲目は、ドビュッシーの「月の光」からコンサートがスタートします。想像しただけで、とてもロマンティックではないですか？ KAMIYAMAさんのパフォーマンスは時折クスッと笑える部分もあり、エンターテインメントとしても楽しんでいただけるので、クラシックにあまり馴染み

がないという方や、お子様にも楽しんでいただけたと思います。フランス作曲の「主題と変奏」は、今回初披露の作品で、この公演のために黒木さんとKAMIYAMAさんに今一生懸命取り組んでいただいています。演奏家にとってとても難しい曲なので、どのようにパントマイムと絡めてくるのか、私も楽しみです。ハルヴォルセンの「パッサカリア」も、ヴァイオリンとコントラバスのデュオで、超絶技巧の極みを味わっていただきたいです。昼のマチネ公演は休憩なしの1時間で、ソワレのプログラムから一部抜粋という形で行うので、お時間やお好みでお客様に選んでいただけるのもこの公演の良いところだと思います。

Q. コントラバス奏者の  
黒木岩寿さんについて

東京藝術大学を卒業され、現在東京フィルハーモニー交響楽団の首席奏者として活動されています。普段からニコニコしていて雰囲気の良い方で、コントラバスとパントマイムの仕掛けを思いつくように、柔軟な音楽的センスのある方です。企画面でもぐいぐい引っ張っていつてくれています。

黒木岩寿さんの  
印象について



KAMIYAMA  
(パントマイム)

ある日、黒木さんの車の中で聴かせて頂いた曲、ジャン・フランセの「モーツァルト・ニュールック」。黒木さんから「この曲面白いでしょ!この曲でマイムと一緒にやろうよ!土の中からモゴモゴっとモグラが出てきてさ!◎△♪×●&#∞!」。黒木さんの創造的な話を聞きながら聴いた、抽象的でさまざまな映像が頭の中に浮かぶユーモラスな曲に衝撃を受けました。黒木さんと一緒にいると、いつも創造的・刺激的で目から鱗なことばかりです。

互いの印象を  
聞いてみました!



黒木岩寿  
(コントラバス)

KAMIYAMAさんのパントマイムはファンタジーに溢れていて、自分の想像力に刺激を与えてくれます。最初に彼と会った時は「どこの世捨て人?」という感じでしたが(笑)よくよく考えてみると、あちらもきっと僕の事を「どこの世捨て人?」と思ったに違いありません(笑)なのでオアイコ。世捨て人2人と、宮崎ご出身の演奏家の方々とで贈る世にも不思議な世界をお楽しみください。

| 演奏曲目        |                               |
|-------------|-------------------------------|
| C. ドビュッシー   | 月の光 (Pf.)                     |
| W.A. モーツァルト | アイネ・クライネ・ナハトムジーク (Pf. Pm.)    |
| M. ポンセ      | エストレリータ (Vn. Pf.)             |
| J. フランセ     | 主題と変奏 (Cb. Pm.)               |
|             | 宮廷の音楽より第1楽章 (Fl. Vn. Pf. Pm.) |
| V. モンティ     | チャールダーシュ (Vn. Pf.)            |
| J. ハルヴォルセン  | パッサカリア (Vn. Cb.) ほか           |

公演情報

シリーズ〈なるほどクラシックコンサート〉  
vol.8『街角物語』

【宮崎公演】 会場: イベントホール  
9月14日(土) <ランチタイム> 11:30開演  
<ソワレ> 19:00開演

【延岡公演】 会場: 延岡総合文化センター 小ホール  
9月15日(日) 14:00開演

< 5 Crescendo

< Crescendo 6



## メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 自主事業公演チケット情報

オルガンの音色で素敵なランチを…通称「オルブラ」。  
劇場のパイプオルガンは国産最大級!  
壮麗な音色に包まれて、癒しのひと時を  
お過ごしください。



パイプオルガン ブロムナード・コンサート vol.163

**「オルブラ」**  
日時: **9月21日(土)**  
**アイザックスターンホール**

## TVで宮崎国際音楽祭!

NHKで第24回宮崎国際音楽祭が紹介  
されます。舞台裏のほかに、客席を魅了した  
三浦文彰と辻井伸行によるフランク  
「ヴァイオリン・ソナタ イ長調 FWV8」を  
ノーカット版でお届けします。  
ぜひお見逃しなく!

NHK BS プレミアム

**8月30日 金** 15時31分  
～16時30分

## Attention(ご注意)

- ◎記載情報は変更になる場合があります。
- ◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの  
詳細は、劇場HPをご覧ください。
- ◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。  
※一部公演除く
- ◎託児サービス(有料・事前申込要)をご利用いただけます。  
※一部公演除く

9月7日(土)～  
9月8日(日)  
開場 13:30 開演 14:00

イベントホール

こどもおとな劇場 #4

KAKUTAのとびだす童話『ねこはしる』

作:工藤直子(『ねこはしる』童話屋刊) 構成・脚色・演出:桑原裕子  
音楽:扇谷研人 うた:花れん  
出演:成清正紀、異儀田夏葉、四浦麻希、多田香織、酒井晴江、置田浩紳、森崎健康、吉田紗也美、  
織詠、高橋弘、矢田未来、細村雄志、桑原裕子、添野澤(ベデカン)  
全席自由 一般2,500円[会員2,300円] U25割1,000円 親子割(4歳から中学生+一般)3,000円

詳細はP4▶▶

チケット発売中

【宮崎公演】  
9月14日(土)

【延岡公演】  
9月15日(日)

シリーズくなるほどクラシックコンサート&gt;

vol.8『街角物語』

《宮崎公演》会場:イベントホール  
◆ランチタイム・コンサート ～気軽に楽しむお昼の60分～ 開場11:00 開演11:30  
◆ソフレ・コンサート ～じっくり楽しむ夜の100分～ 開場18:30 開演19:00  
《延岡公演》会場:延岡総合文化センター 小ホール 開場13:30 開演14:00  
出演:KAMIYAMA(バントマイム)、黒木岩寿(コントラバス)、白濱優子(ヴァイオリン)、  
本田奈留美(ピアノ)、桐原直子(フルート・ご案内)  
全席自由 【ランチタイム・コンサート】一般・U25割共通1,000円[会員800円]  
【ソフレ・コンサート、延岡公演】一般2,000円[会員1,800円] U25割1,000円  
親子割(小・中学生+一般)2,500円

詳細はP5・6▶▶

チケット発売中

9月20日(金)  
開場 18:00 開演 18:30

演劇ホール

PARCOプロデュース  
「人形の家 Part2」

作:ルーカス・ナス 翻訳:常田景子 演出:栗山民也 出演:永作博美、山崎一、那須涼、梅沢昌代  
S席6,800円[会員6,120円] A席当日引換券4,800円[会員4,320円]  
B席当日引換券3,000円[会員2,700円] U25割2,000円 SS席完売

チケット発売中

9月21日(土)  
開場 17:30 開演 18:00

9月22日(日)  
開場 13:30 開演 14:00

イベントホール

北九州芸術劇場ダンスクリエーション  
「ギミックス」

振付・演出:井手茂太  
出演:江原千花、片山敦郎(三人兄弟)、谷口美咲子、鉄田えみ(ためパフォーマンズ)、都田かほ、  
乗松薫(ためパフォーマンズ)、山本泰輔  
全席自由 一般2,000円 高校生以下1,000円

チケット発売中

9月21日(土)  
開場 10:30 開演 11:00

アイザックスターンホール

パイプオルガン ブロムナード・コンサート vol.163  
「オルブラ」

出演:洪澤久美(オルガン)、伊豆諤子(司会・進行)  
全席自由 4歳以上500円 なかよしチケット700円(4歳以上の2人1組、前売りのみ)

チケット発売中

10月5日(土)  
開場 13:30 開演 14:00

イベントホール

'19みやざきの舞台芸術シリーズII  
「Flute! Flute!! Flute!!!」～笛の匠と低音フルートへの誘い～

出演:大保麗香、齊藤匠、山田ゆう子、山田くに子、吉國美紀、桐原直子  
全席自由 一般2,500円(当日3,000円) U25割1,500円(前売り・当日とも)

チケット発売中

10月9日(水)  
開場 10:15 開演 11:00

大練習室2

はじめてのクラシック♪  
#3～クラリネット～

出演:日高由美子(クラリネット)、河内朋子(ピアノ)  
全席自由 大人500円 子ども無料

#3は定員に達したため、  
受付を終了しました。

10月19日(土)  
開場 13:30 開演 14:00

イベントホール

鈴木大介×伊藤ゴロー  
「ギター・デュオで聴く 映画音楽の世界」

出演:鈴木大介、伊藤ゴロー  
全席自由 一般3,000円[会員2,700円]  
ペア割5,000円[会員4,500円] U25割1,500円 親子割(小・中学生+一般)3,500円

詳細はP1・2▶▶

チケット発売中



© 岡崎デザイン

**9/21(土)・22(日)**  
**イベントホール**

北九州発のダンス作品「ギミックス」が宮崎に登場!コ  
ンセプトは「ギミック=仕掛け」。一度見たらクセになる、  
九州発の新たなダンスムーヴメントにご期待ください♪

北九州芸術劇場  
ダンスクリエーション  
ギミックス

振付・演出

井手茂太  
-Shigehiro Ide-

佐賀県出身。既存のダンススタイルにとらわれない自由な発想で、集団内  
でのコミュニケーションをモチーフに日常の身振りや踊り手の個性を活か  
したオリジナリティ溢れる振付手法で注目される。しなやかで弾力のある  
動きは、ダンサーとしても呼び声が高い。またカンパニーでの作品発表に加  
え、演劇作品へのステージングや振付、CM・ミュージックビデオの振付や  
出演など、幅広いジャンルで活動している。近年では、椎名林檎、星野源、  
Avril Lavigne、乃木坂46などのミュージックビデオの振付や出演、野田  
秀樹演出NODA・MAP「逆鱗」「僕作 桜の森の満開の下」、夏木マリ「印象  
派NEO」、ジョン・クアード演出「ハムレット」、岩松了演出「たまごゴ  
ル」ドシアター「薄桃色のかたまり」、三谷幸喜演出「子供の事情」などの振  
付・ステージングも手掛けている。www.idevian.com

出演者  
メッセージ

片山敦郎さん〈宮崎在住〉



井手さんの作品は、ユーモラスな流れの中にダンス作品と  
しての圧倒的な格好良さが散りばめられています。今回の  
「ギミックス」もポップでキャッチーな振付の中にスマートさ  
がある。絶妙なバランスで構成されていますし、初演からブ  
ラッシュアップし、再構築しているので見てもらえればき  
っと楽しんでいただけたと思います。個人的にはちょっとした見せ場になるシーン  
があるので、その部分もぜひ宮崎の観客の皆さんに注目して欲しいです。

お問合せ



公益財団法人 宮崎県立芸術劇場  
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210  
http://www.miyazaki-ac.jp/

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670

Twitterとfacebook随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしております。